

# オリーブの会通信

2011年9月9日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会  
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2  
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)  
<http://khj-olive.com/>



## 第111回月例会ご案内

日 時	2011年9月25日(日) 13:00~受付 13:30~16:30
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 会議室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~ 開会 13:30~13:40 : 報告・連絡(川井) 13:40~16:30 ・8/29・30「親の学習会」準備研修会参加者による感想発表 ・グループに分かれての「親の学習会」  テーマ : <u>今まで親が相談してきた先</u>  途中休憩あり ※ご家族でご参加ください。
参 加 費	・会員 1家族 1000円 ・非会員 1家族 1500円

## 【「親の学習会」の準備研修会開催 8/29 8/30】

日中は蒸暑い日が続いていますが、夜には秋の虫の音に耳を傾ける今日この頃です。

皆様方におかれましては お元気でお過ごしのことと存じます。

さて、親の学習会は KHJ 親の会（家族会連合会）の平成 23 年度巡回サポート事業として全国展開を目指しており、その準備研修会を 8 月 29（月）・30 日（火）の両日 池田佳世代表（SCS カウンセリング研究所代表 臨床心理士）、高橋晋カウンセラー（SCS カウンセリング研究所 元当事者）をお迎えして香川県高松合同庁舎にて開催、22 名の方が参加されました。KHJ 徳島つばめの会からも浅田みちる副会長（支援者・臨床心理士）が参加下さいました。目的は親の変化による子どもの回復です。

### 1. 親の学習会について留意点・必要性。

- ① 親の学習会は一貫性（一つの一貫した価値観、やり方）が必要である。
- ② 親の学習会の講座では、回復の道筋が見え、講師には人間的魅力（元ひきこもりの講師の方が影響力は強い、講師でも成長や勉強が止まったら、講師をする資格がないと思っている）が必要。
- ③ 親の学習会は「ひきこもり」脱出に必要不可欠（まずは他人に託すより、両親の勉強から始める）
- ④ 親の学習会で親が、コミュニケーションの幅と回数を広げよう（第 3 者の力を借り、柔軟に行動してみることから始めよう）
- ⑤ 親の学習会は子どもの行動の意味（見方、とらえ方）を学んでいくもの（人生再生の始まりという風に、新しい見方を学んでいく必要がある）

また研修会では、資料をもとに快復の五段階を説明、その場合の「親の対応」を学ぶ。親は今、子の快復段階を少しでも上げておこう。快復させていく決意をしよう。と力強く参加者に訴えられた。高橋カウンセラーからは「ひきこもりは大切な再生への道」である。そして 1.ひきこもりの根本にあるもの 2.家族関係の再生 3.自分自身の回復 4.社会・他者・世界とのつながりの回復 について事例を交えお話された。体験を通して学ぶロールプレイも組まれていて、父親、母親、子どもの役を決め一人は観察者になり参加者全員で練習しました。お二人のアドバイスがあまりにも的確なので感心させられました。

また、池田代表から「カリキュラムをチョイスして出席するのではなく、親はすぐ忘れるので毎回出席したほうが効果がある。講座を親が受けたあと、子どもは楽になっていったことが分かった」というお話もありました。最後は全員で輪になって楽しくフラダンスを踊り、順番に二日間の研修の感想を述べて解散しました。本当にお疲れさまでした。

今後 さしあたり東東京楽の会の学習会のカリキュラムを参考に、池田代表、高橋カウンセラーのご指導のもと、専門家も講師に入ってください親同士で継続していくことになりました。

ご案内のとおり 9 月の例会は準備研修会を踏まえて親の学習会を開催いたしますので、是非ご参加、ご協力お願い致します。また 8 月の研修会の会場準備につきましては、アンダランテ（ひきこもり地域支援センター）の保健師 藤田様に大変お世話になりお礼申し上げます。そして講師の方の送迎はじめ、いろいろご協力いただいた役員の方々有難うござい

ました。

(回復、快復は資料のとおり二通り使用)

(川井)

## 【8月例会(8/28)の報告】(概略)

「ひきこもり地域支援センターの役割と利用について」(抜粋 概略)

アンダンテ(香川県ひきこもり地域支援センター)

保健師 藤田 順子 氏

現在の職場は4月からなので、日々勉強であること。6月20日に開設された「ひきこもり地域支援センター」の概要と2カ月経過した状況についてお話いただきました。

1. **課題** (資料をもとに説明) 国の実態調査から分かったこと。

- ① ひきこもり本人や家族が十分に相談できないのではないか。
- ② 関係機関のネットワークが十分に形成されていないのではないか。
- ③ 本人や家族にひきこもり施策等の情報が届いていないのではないか。

現在 各都道府県・指定都市に34カ所ひきこもり地域支援センターが開設されたが、それまでにKHJなどの強い要望もあったと聞いている。

○**設置場所**: 精神保健福祉センターが多い、民間の支援団体に委託、大学のなか等もある。

○**タイプ**: ・児童型(18歳未満を対象)・成人型(18歳以上を対象 香川県)

○**ひきこもり支援コーディネーター**: (臨床心理士・当事者と同世代の男性が専任 香川県) 県では370万円の予算をいただき運営するようになっている。精神保健福祉センターも人員的には非常にきびしい。

2. **事業**

- ① 第1次相談窓口
- ②  他の関係機関との連携
- ③  情報発信

3. **香川県ひきこもり地域支援センター**

○**目的**: 本事業は、「ひきこもり地域支援センターにおいて、関係機関との連携の強化を図りながら、ひきこもり本人や家族などを支援することにより、ひきこもり本人の自立を促進し、本人及び家族などの福祉の増進を図ることを目的とする。

呼称**アンダンテ**(歩くようなゆっくりとした歩み)とつけ、当事者も家族も確かな歩みを続けられるようにという願いも込めている。

開設後 相談を受けるたびに「自立」というのは、なかなか難しいと日々感じている。「自立」とは、本人が望む形の社会参加と捉えている。

## 【業務】

(1) **相談支援**

○来所相談 : H.22年度 実数 81件 27.6% 延数 400件 13.6%

○電話相談 : " 実数 39件 1%

○メール相談： // 実数 11 件 13.4%

### 6/20～8/25 の相談件数

①来所相談：延べ 41 件

- ・10代～50代と幅があるが、当事者が20代というのが特に多い
- ・そのうち90%ちかくは家族からの相談（暴力・対応・将来のことなど）

②電話相談：延べ 41 件

- ・10代～50代（対応・メンタル面など）

③メール相談：延べ 5 件

- ・本人と接点を持てるので大事にしている。
- ・本人の辛い思いを書いている。
- ・書いている内容から健康状態が読み取れることもある。



## (2) 当事者、家族への支援

○親のグループワーク：行きやすくピッタリするところが良いと思う

○思春期・青年期デイケア：医療型デイケアである。

中学から不登校だった30代の男性が相談に来所するようになり、デイケアにも参加、友達に刺激されハローワークまでつなげた成功例を紹介。

## (3) 人材育成

○ひきこもり対策研修会：支援者を支援する研修会

下記講演会は無料です。是非ご参加ください。

日時	2011年11月5日(土)午後
場所	香川県社会福祉総合センター 1階 コミュニティホール 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
講師	斎藤 環 先生
内容	① ひきこもりの心と向き合うために —支援者、家族ができること— ② コンサルテーション
対象	家族、支援者及び関心のある方

## (4) 関係機関の連携

○ひきこもり対策連絡協議会の開催：関係機関（保健、医療、福祉、教育、労働等の関係者）の連携を強化し、支援体制の充実を図る。

1回目 平成23年8月2日(火)

2回目 平成23年12月頃

## (5) 普及啓発等

○地域支援センターの広報、チラシ

○リーフレット（家族向け、支援者向け）の作成

○ホームページの更新と情報発信

特に感じるのは、ひきこもりの存在を隠す、匿名を希望されたり、偽名で相談に来られる方もいる。それらは本人や家族を苦しめる誤解、偏見などがあるのかなと思っている。そういう部分を少しでも啓発出来ればと思っている。体制的には従来とあまり変わらないが、ひきこもり支援は十分確立されていないと思うので、一件一件関わりのなかから事例を分析しながら、少しでも生かせたらと思っている。

**齋藤環先生の講演会より**：家族の基本的な心構え→安心してひきこまれる環境づくり、コミュニケーションの回復について資料をもとに話された。

**コミュニケーションの練習**：子どもの自慢話をお互いに隣の席の人と話し、聴く練習をしたり、困りごとを相談する。それを肯定的な言葉でかえすというような、マイナス表現をプラスに変えてみる表現の練習。

特に複雑な問題が絡んでいる場合、アンダンテだけではなかなか難しいのではないだろうか。

第1次相談窓口の機能を発揮して長期化しないで、早い時期に関われるようなセンターになればと思っている。

◇**グループ別話し合い**（概略）参加者に自由にグループに入ってもらおう。

#### **父親の多いグループ**

- 二人の子供のうち、上の女の子がお盆に家族3人で帰省しました。その際、息子は対応の仕方に気を病んでいましたが、娘の夫が優しい人で、心配していたようなトラブルもなく、無事にお盆を終えることが出来ました。
- 登校拒否で引きこもっている孫のことを心配した祖母が、新聞記事を見て、「早めに何とかしなくては」という「藁をも掴む思い」で、当会に初めて参加されました。

祖母のお話では、

- ・ 母親が特異な宗教に関わって1年余りになり、言動が問題である。
- ・ 下に中1の女の子がおり、影響を心配している。
- ・ 父親は仕事が忙しいと言って真剣に取り組んでくれない。

など、色々お話されました。

これに対し、参加していた父親からは

- ・ 祖母の積極的な姿勢で当会に参加されたことは素晴らしい。
- ・ 父親にぜひ当会に参加するように勧めて欲しい。出来れば継続して参加されたい。
- ・ 父親は仕事を休んででも子供のために真剣に取り組むべき時である。
- ・ 児童相談所に相談するとともに、引きこもり地域支援センターにも相談して総合的に対応した方が良い。

などの意見が続出しました。

今回の当会への参加が祖母にとって、孫さんの引きこもり回復に少しでも役立つことを願っています。

## 母親の多いグループ

7月の例会でお盆に当事者の兄弟家族が帰省したとき、当事者に対する影響がひとつの話題になりました。実際にどのような状況であったか何例か 2、3 報告していただきました。その他、前回と同じく近況、日常の困っていることの相談等ということで話し合いをはじめました。

### ○ お盆の帰省

兄弟家族が生活パターンに合わせて、自宅で過ごしたり、外出したりして過ごせたケース、兄弟の家族が、自宅近くのホテルで泊まって、外で主に過ごしたケース。緊張しながらも一緒に食事ができたケースなどが紹介された。

### ○ 近況では、

- 1) 日曜大工的な仕事を頼めばしてくれる。それに対して、もっと頼むことを増やして、会話が増えたり、家族の役に立っていることで自信につながるのではないかとの意見がだされた。また、当事者が、携帯電話を持つことを勧めてくれたおかげで、メールの仕方など携帯電話が使いこなせるようになってよかったと、当事者に対する感謝の気持ちの1例が話された。
- 2) 今は調子が悪く、当事者とどう接していいかわからないという意見に対して、父親が一方的に、大声で挨拶を繰り返している。当事者は話ほしないけれど、かなりいい状態になってきた。大声で挨拶しようとの助言が出された。

以上

## 【お遍路さんのお土産作りの状況】

◇たんぽぽの風企画さんのお土産作りをお手伝いするなかで、会員の息子さん、娘さんが隠れた能力を発揮してくれています。また、数名のお母さんにもボランティアで協力いただいておりますが、それぞれ

味のある個性豊かな絵を描かれており、絵だけではなく負担でなければ、ひとこと言葉も書いてほしいとお願いされました。それは、お遍路さんも共感できるような、きっとやさしい言葉だと思ふからとのことでした。引き続き絵の方もよろしく願います。

◇先日 ポレポレ農園の野菜引き取り前に、末の分校へ杖の飾り付けの完成品を納めにお伺いしたところ、丁度さぬき市の長寿障害福祉課の板倉課長様がおられ、杖の飾り付をみて大変感心されていました。ひきこもりについて、もうひとつよく分からない部分があるとお話でした。子どものこと、働きたくても理解ある場所がないこと、コミュニケーションがとれず続けて働けないこと、まだまだ偏見があること、会のこと、櫻木さんとの出会いがあり、お土産作りをとおして子どもが関わりをもて感謝していることなどお話をさせていただきました。お父さん方もできる範囲のご協力願います。



### 【本部年会費について】

今年度から KHJ 本部を SCS カウンセリング研究所内に設置、それまで亡き奥山代表がお一人で工面されていたのを、事務所費など各支部が会員数に応じて負担することになりました。

正会員 30 人以下の会：2 万円 50 人以下の会：3 万円 100 人以下の会：4 万円

300 人以下の会：5 万円＋寄付

当会は平均 65 人くらいですので、4 万円の負担となります。

40,000 円 ÷ 65 = ≒616 円となります。そこで 9 月 4 日の運営委員会において  
集金は 1,000 円とさせていただくことに決定しました。

9 月例会時にお願ひします。不参加の方には振込票を来月送付させていただきます。

### 【9 月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第 5 回運営委員会	4	土	13：30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	10	土	9：00～	加藤
ポパイの会 パソコン教室	11	日	13：30～	森下

### 次回【112 回 月例会予定】

日 時	2011 年 10 月 23 日（日）13：00～受付 13：30～16：30
場 所	香川県社会福祉総合センター 6 階 研修室
内 容	神経症やひきこもりについて（予定）
担 当 G	B グループ

### 【「親の学習会」予定】東東京楽の会学習会のカリキュラムを参考、（変更する場合もあり）

1	2011 年 9/25（日）	今まで親が相談してきた先
2	10/11（火）	無条件に肯定的に聴く という事
3	10/23（日）	神経症やひきこもりについて
4	11/27（日）	トラブルには意味がある
5	12/18（日）	自分のことは話さない
6	2012 年 1/22（日）	親の焦り